

春季号
発行所

和泉村教育委員会

昭和58年 4月20日

スポーツ和泉



スポーツの役割 体育指導委員長 河口孝次

河口孝次

スポーツということばは、昔は仕事を離れての娯楽、慰安、くつろぎなどのために行なう活動を意味していました。時代のうつり変わりとともに、狩りや、つりなどの野外における活動を包含するようになり、近世になって、運動競技をも含むようになり、その意味が当初とはしだいに変わってきたわけです。

日本におけるスポーツの大部分はそれが移入された時から競争的であったため、スポーツを競争あるいは運動競技と訳する場合が多かったようです。

昭和三十六年にスポーツ振興法が制定され、その中で「スポーツとは運動競技及び身体活動(キャンプ活動その他の野外活動を含む)であって、心身の健全な発達を図るためにされるものをいう。」と、スポーツを運動競技だけに限らず広い意味で定義づけられました。さて、健康でたくましい「からだ」づくり

は老いも若きも望むところであり、それは私達一人ひとりの幸福の源泉であるだけではなく、家庭や社会の営みにとっても大切な基盤であります。そして、スポーツはその基盤づくりに色々な役目を果たしているわけですが、特に私は次の二つをすばらしい役割として強調したいのです。その一つは人間の身体は適度に運動すれば発達し、運動しなければ弱っていくという原則があります。従って自己の健康状態に応じてスポーツを行なうことによって発育盛りの若い人にとっては体力を増進させ、年令の進んだ人には体力を維持させていつも若々しく元気に活動させてくれます。二つめは、私達はそれぞれ社会的な立場や役割(職業)をもって生活しておりますが、時にはその立場や役割から解放されて自由になりたいと望むものです。そうして、この解放された自由時間に、スポーツやその他の文化活動を行なっていく中で仕事とは関係のない新しい人間関係を作っていきます。スポーツによって結ばれた人間関係は上下の関係ではなくお互いに平等の立場で赤裸々の姿での交際であり、ほんとうに楽しく明るく豊かな結びつきだと思っております。

体育指導委員紹介

我が村には、みなさんが体力づくりとしてスポーツ活動をするうえでのお世話をしてくださる体育指導委員がいます。村民の健康づくりのため行事の企画や指導・相談をされ活躍されています。そこで委員のみなさんを紹介いたします。

委員長 河口孝次 上大納

委員 中内智利 朝日

委員 塚本慎一 中竜

委員 稲郷栄一 朝日

委員 谷弘典 下山

委員 岡田富士雄 川合



社会体育事業計画

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
行事	12 △村体協定期総会	26 △水はし △ゲートボール大会 中旬△ソフトボール大会	5 ○健康マラソン 26 ○奥越ブロック親善ゲートボール大会	2 △大野球大会 10 △パレーボール大会 26 ○県体結団式 29 △ソフトボール講習会	7/31 1 大野少年ソフトボール大会 13 14 15 県体夏季大会	上 ○村体実行委員会 中 ○村体運営委員会 20 △卓球大会 25 県スポーツ少年大会	2 ○村民体育大会 18 △和泉駅伝監督会 22 △和泉駅伝 下 奥越マラソン大野大会	12 ○スポーツ球技大会 13 △レクリエーション大会	下 △スポーツスキー教室	中 クラブ対抗スキー大会	5 △スキー大会 18 19 県体冬季大会	4 ○九頭竜スキー選手権 11 ○県小学生クロスカントリー大会 下 △スポーツスキー教室
村・教委主催												
村体協主催												

※ 多少期日の変向があります。

スポーツ教室開設あんない

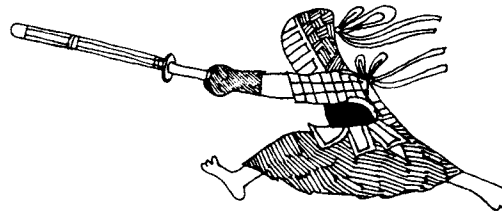
和泉村教育委員会

教室名	対象	活動日	活動時間	活動場所	定員	目的及び活動内容	指導者
中竜剣道	小・中学生	毎週火木	午後5:30 ～7:00	村民体育館		剣道を通じて身心の健全な育成をはかる。	斉藤 國恵
朝日剣道	小学生	毎週火金	午後7:00 ～8:30	中央公民館講堂	約10名	〃	沢崎 孝也
大納パレーボール	一般男・女	毎週木	午後7:00 ～9:00	村民体育館		健康の保持増進と技術向上をはかる。	谷口 重信
バドミントン	一般男・女	毎週木	〃	中央公民館講堂	約12名	バドミントンを通してスポーツに親しむ楽しさを知り、生活の中にスポーツをとり入れる。	油谷 文雄
卓球	一般男・女	毎週月	〃	〃	約15名	卓球の基礎技術の習得と健康づくり。	河合 佐

※ この教室はスポーツを通して村民の健康づくりと、一人でも多くの人に楽しんでもらうため企画しました。

参加料無料（剣道は竹刀持参）。

申込先
問合せ
教育委員会 ☎2110・2179
中竜支所 ☎2351
又は各指導者へ



村体育協会の行事は次の方々へ
(敬称略)

体協地区幹事	前坂・後野・川合・貝皿	— 三嶋政昭
	朝日	— 西二郎
	下山・角野・板倉	— 中村登右工門
	大納	— 尾崎一雄
	中竜	— 小山良一

みんなの体育施設

村ではどなたでも使える体育施設があります。職場や気の合った仲間同志、村内会、又はご家族連れなどで大いにご利用下さい。体力づくりやレクリエーション、仲間づくりの場としてすばらしい活動ができると思います。

◆ 施設の場所と利用方法についてご案内いたします。

◆ 利用にあたって

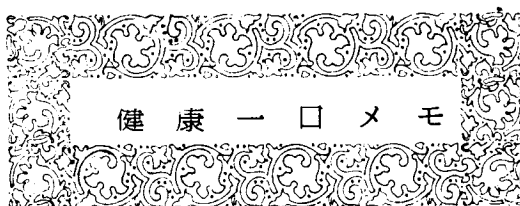
一、団体利用の方はスケジュール調整のため一週間前に申込み下さい。

◆ これだけは守って下さい

一、使用時間を守りましょう。
一、施設内は禁煙です。煙草をすう場合は所定の場所です。

一、使用後は清掃しましょう。
一、体育館では必ず内ばきズックを使用すること。
一、グラウンドではスリッパやゲタ等で使用しないこと。
一、運動できる服装で利用のこと。

	村民体育館	中央公民館講堂	村営 テニスコート	村民グラウンド
開放時	午前9:00 ~ 午後9:00	左記に同じ 但し、土曜の 午後・日・祭日は 原則として開放 しない。	4月~11月 午前8:30 午後5:00	午前8:00 ~ 午後5:00
内容	バレーボール 2面 卓球 6面 バスケットボール 2面 テニス 2面	バレーボール / 面 ミニバスケットボール / 面 卓球 3面	全天候型 コート 2面	野球 ソフトボール サッカー 陸上競技 他
申込	中竜支所 ☎ 2351	和泉村教育委員会 ☎ 2179		



体は使わなければ衰えていく

若い時、虫垂炎の手術をして一週間ほど入院したことがある人ならだれでもわかるはずですが、たった一週間でも寝たきりでいると、体がなるとも頼りなくなるものです。関節はこわばり、自由に曲げることもできません。起き上がれば目まいがし、筋肉が弱って体が小刻みに震える感じさえします。

普段スポーツをしている若者ですら、筋肉や関節、腱、内臓等は全て、使わなければその機能は衰えていくものなのです。

これは脳細胞についてもいえることです。年をとるにつれ脳細胞も使用しなければどんどん脱落して、脳の老化が進みます。体や頭をほどよく使い続けること、これが健康を保つ最大の秘訣といえそうです。

